

# 涼豊(りょうほう)(ナシ)

＝福島県農業総合センター果樹研究所＝

## >>> 品質・栽培の特性

- 9月下旬から10月上旬に収穫できる中晩生品種。
- 大果で果形の揃いが良く、扁円形の独特な外観を持つ。
- 甘味が高く酸味が弱く、果汁が多いため食味が良好。
- 貯蔵性に優れ、12月まで食味を損なうことなく冷蔵できる。
- 黒斑病抵抗性があり、黒斑病にも強いいため栽培が容易である。



### 名前の意味

「ジューシーで清涼感にあふれる食感と、豊かな秋の実りを象徴する大きく豊満な果形を併せ持つ果実」という意味を込めています。

## >>> 栽培上の留意点

- 開花期が早いので晩霜害に注意する。受粉には前年の貯蔵花粉を用いる。
- 着果過多や樹勢衰弱樹では変形果が多くなるので適正な着果管理に留意する。
- 収穫時期は、果皮表面が黄金色になり、果梗部にわずかに緑色が残る状態が適熟期である。なお貯蔵用の果実はやや早めの収穫とする。

## >>> 来歴の概要

昭和62年に「新高」を母、「豊水」を父とした人工交配により作出した品種です。平成6年から個体選抜、また平成12年から現地試験を継続し、平成15年にその特性を確認して育成を完了しました。

新高 (♀)

豊水 (♂)

「涼豊 (りょうほう)」